

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2918

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	島根県立大学		開催方法	<input type="checkbox"/> 対面（ ）	
				<input type="checkbox"/> オンライン（同時・録画・資料提示）	
				<input checked="" type="checkbox"/> その他（未定）	
	正式科目名 副題	アジア近現代史		配当年次	2・3・4
				受入学年	
	学問分野	番号	16	名称	人文科学系 その他
3. 担当教員名	苗 靖				
4. 単位数	2 単位		5. 開講学期	後期集中	
6. 開講期間 曜日・時間	2023 年 2 月 ※調整中 曜日 : ~ :				
7. 基礎知識の有無	2. 「基礎知識を必要としない科目」				
8. 募集人数	5 人		9. 選考方法	書類選考	
10. 科目内容・ 授業計画	<p>【授業の概要】</p> <p>中国は、1840 年のアヘン戦争を契機に、西洋の国際秩序の下に強制的に編入させられた。中国が当時の熾烈な国際環境のなかで自立するには、西洋に倣って各方面にわたる近代的変革を目指さなければならなかった。同時に、その変革は中国を中心とする従来の東アジアの秩序と強く衝突するものでもあった。</p> <p>この授業では、「西洋の衝撃」に際して、近代中国が近代化に対する紆余曲折の模索を概説する。具体的には、1840 年のアヘン戦争、1856 年のアロー戦争、1860-90 年代の洋務運動、1894 年の日清戦争、及び 1911 年の辛亥革命に至る歴史を扱い、映像を活用しながら説明する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>近現代中国に関する基礎知識を自分の言葉で説明し、アジアの近代及び現代について論理的に思考・表現することができる。</p> <p>【授業の内容】</p> <p>第 1 回 イン트로ダクション：歴史とは何か  第 2 回 中華帝国の伝統的構造  第 3 回 アヘン戦争①：お茶とアヘン  第 4 回 アヘン戦争②：不平等条約と条約港  第 5 回 太平天国——動乱の時代  第 6 回 アロー戦争①：主戦論と平和論  第 7 回 アロー戦争②：総理衙門の成立  第 8 回 洋務運動①：軍需工場の設立、洋書の翻訳  第 9 回 洋務運動②：改革をめぐる議論  第 10 回 日清戦争①：琉球と朝鮮をめぐる日清対立  第 11 回 日清戦争②：下関条約と三国干渉  第 12 回 戊戌維新  第 13 回 清末の「新政」と留学生  第 14 回 辛亥革命  第 15 回 まとめ</p>				
11. 試験・評価方法	単位修得要件：原則として 15 回の授業中、3 分の 2 以上出席すること。 成績評価基準：平常点 40% + 期末試験 60%				
12. 別途負担費用					
13. その他特記事項					
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ			可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ			可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。